

新型コロナウイルス感染拡大防止のための専門学校日本デザイナー学院、日本写真芸術専門学校活動制限指針

2021年4月25日現在

レベル	判断基準	授業運営	校舎への入館	施設・機材の貸出	各種業務
レベル0	平常時～感染リスクが極めて低い状態	感染リスクを回避しつつ、対面とオンラインでの実施。	通常通り入館を認める。	通常通り貸出を認める。	通常通り業務を実施。
レベル1	全国の感染者数が一定数に留まっており、都立の高等教育機関が対面授業を実施している状態	感染リスクを回避しつつ、対面とオンラインでの実施。	感染拡大防止に留意して入館を認める。	感染拡大防止に留意して貸出を認める。	感染拡大防止に留意して窓口業務、対面会議等を実施。
レベル2	全国の感染者数が増加傾向にあるが、都立の高等教育機関が対面授業を実施している状態	感染リスクを回避しつつ、対面とオンラインでの実施。	感染拡大防止に留意して入館を認める。	一部の施設貸出を縮小するなど感染拡大防止に最大限留意して貸出を認める。	感染拡大防止に留意して窓口業務、対面会議等を実施。
レベル3	全国の感染者数が増加傾向にあり、都立の高等教育機関が対面授業を一部中止している状態	オンライン授業を中心としつつ対面でしか成立しない一部の授業を対面で実施。	授業出席者および事前登録者のみ入館可。	施設・機材両方の貸出規模を縮小するなど、感染拡大防止に最大限留意して貸出を認める。	窓口業務の規模を縮小&オンライン会議の積極的活用。
レベル4	全国の感染者数が大幅に増加しており、都立の高等教育機関が対面授業を中止している状態	オンライン授業のみ実施。	原則入館自粛。授業出席者および事前登録者（学校見学、体験授業参加者他）のみ入館可。	卒業制作、課題制作等で学校が必要と認めた場合のみ貸出を認める。	窓口業務は最低限とし、オンラインやメール、電話での対応を中心に実施。